

Radio Ĉerizo Eduka、さくら教育放送です。やさしい国際語・民際語エスペラントを学びましょう。きょうは第7回、「いつエスペラントを使いますか?」です。

Ĉu vi ĉiam parolas Esperanton?

Ne, ne ĉiam.

Mi parolas japane en ĉiutaga vivo.

Do, kiam vi parolas esperante?

En esperantaj kunsidoj, kompreneble.

Ĉu vi ĉiam parolas Esperanton?

Ne, ne ĉiam.

Mi parolas japane en ĉiutaga vivo.

Do, kiam vi parolas esperante?

En esperantaj kunsidoj, kompreneble.

Ĉu vi ĉiam parolas Esperanton? / Ĉu vi ĉiam parolas Esperanton?

ĉuは「何々か?」という意味です。Ĉu ĉokolad/o?「チョコですか?」、Ĉu kuk/o?「クッキーですか?」、Ĉu don/aĵ/o?「プレゼントなの?」、Ĉu hodiaŭ?「今日かい?」、Ĉu maten/e?「朝なの?」。ほら、いろんな言い方ができましたね。

ĉiamは「いつも」ということばです。parol/asのparol/iは「話す、しゃべる」ということで、parol/asとasをつけて現在形なので「話します」。Ĉu vi ĉiam parol/as Esperant/o/n?は「あなたはいつもエスペラントを話していますか?」になります。

Ne, ne ĉiam. / Ne, ne ĉiam.

neは「いいえ」にも「何々ではない」にも使います。で、Ne, ne ĉiamで「いや、いつもではありません」となります。

Mi parolas japane en ĉiutaga vivo. / Mi parolas japane en ĉiutaga vivo.

japan/eはここでは「日本語で」の意味です。副詞語尾eがついてこうなっています。もとのjapan/oが「日本人」で、Japan/i/oとすると「日本」の意味なります。en ĉiu/tag/a viv/oのĉiu/tag/aはĉiu「全ての」、tag/a「日の」の合成語で「全ての日の」、つまり「毎日の、いつもの」ということになります。viv/oは「生活」とか「命」ということです。en ĉiu/tag/a viv/oで「毎日の生活では」とか「いつもは」になりましょう。「わたしはいつもは日本語で話しています」。

Do, kiam vi parolas esperante? / Do, kiam vi parolas esperante?

doは「では、じゃあ」です。kiamは「いつ」という疑問を表します。esperant/eは「エスペラントで」です。さっきもjapan/o「日本人」、japan/e「日本語で」、が出てきましたね。esperant/eと副詞語尾がついています。Do, kiam vi parol/as esperant/e?「じゃあ、い

つあなたはエスペラントで話すんですか?」

En esperantaj kunsidoj, kompreneble. / En esperantaj kunsidoj, kompreneble.

こんどは esperant/a と、a という形容詞語尾がつきました。「エスペラントの」です。

kun/sid/o は kun「いっしょに」と sid/o「すわること」の合成語で、kun/sid/o「集まり」「会議」などの意味になります。esperant/a/j kun/sid/o/j の最後の j は、複数、つまり一つ以上を表す語尾です。kun/sid/o/j で集まりがいくつもあることを指します。このときこれを飾る形容詞にも j をつけなければなりません。ですから esperant/a/j kun/sid/o/j となるわけですね。「エスペラントの集まり」(一つ以上)です。

kompren/ebl/e は「もちろん」の意味。kompren/i、kompren/i の部分が「理解する」、ebl/e が「できる」で、「理解できる」ということですね。「もちろんエスペラントの会合ですよ」。

Ĉu vi ĉiam parolas Esperanton?

Ne, ne ĉiam.

Mi parolas japane en ĉiutaga vivo.

Do, kiam vi parolas esperante?

En esperantaj kunsidoj, kompreneble.

Ĉu vi ĉiam parolas Esperanton?

Ne, ne ĉiam.

Mi parolas japane en ĉiutaga vivo.

Do, kiam vi parolas esperante?

En esperantaj kunsidoj, kompreneble.

kun/sid/o という合成語が出てきましたが、エスペラントではほとんどの語や語尾をくっつけて新しい語を作ることができます。「集まり」や「会議」という意味で、ほかによく使うものに kun/ven/o があります。kun+ven/o「来ること」ですね。同じような意味で、kongres/o や konferenc/o、konsili/o、assemble/o などがありますが、いずれも欧米でよく使われる言葉をそのまま取り入れています。これはあまりいいこととは思えません。わたしたちは kun/sid/o や kun/ven/o のような、なるべくやさしい言葉をたくさん使って、用を足したいものです。初心者に優しいエスペラントでありつづけるように。

つづりのことですが、Japan/i/o「日本」や Esperant/o という名詞は普通大文字で始めますが、japan/e「日本語で」とか esperant/a「エスペラントの」のように名詞でないときは普通小文字で書きます。しかし「そうしろ」という明確な規定はないので、全部小文字で書く人もあるんですよ。欧米の習慣にこだわる必要もないでしょうからね。

エスペラントの会合で出会って結婚した人たちがいます。国際的な結婚の場合、その夫婦の日常会話は当然エスペラントになります。民族語では会話が成り立たないわけですからね。そこに生まれる子供は当然、生まれつきのエスペランティストになります。この人たちを *de/nask/a/j esperant/ist/o/j* と呼んでいます。 *de/nask/a* 「生まれた時からの」という意味です。

Radi/o Ĉeriz/o Eduk/a 第7回はこれで終わりです。ではまた次回。
Ĝis re/aŭd/o, amik/o/j!

ご意見・ご感想・音声メールはこちらへ。
Donu vian voĉon, opinion, aŭ mesaĝo al:
radiocxerizo+007@gmail.com